



児童の実態
 ◇素直で優しく、真面目
 ◇のびのびしていて、人なつこい
 ◇自分の思いや考えを積極的に表現することが苦手

保護者や地域の願い
 ◇明るい元気なあいさつができる
 ◇思いやりの心もち、自分も友だちも大切にできる
 ◇確かな学力を身に付けている

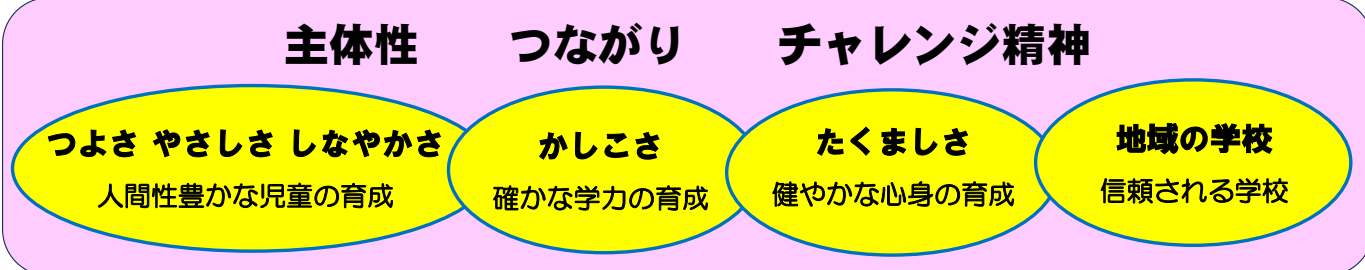
【学校教育目標】
つながり、ひびき合い、未来を拓く児童の育成

【めざす学校像】
 ・明日が待ち遠しくなる学校（自分らしさを発揮できる学校）
 ・保護者や地域が誇りに思える学校（信頼されともに育てる）
 ・教職員がやりがいのある学校（協働体制と同僚性）

福井市学校教育目標
 「郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成」

福井市学校教育方針
 学びをつなぐ・未来につなげる
 ～「つながる」を大切にした学校づくり～

大東中学校区教育目標
 学びとつながる、人となつながら、心がつながる学校づくり



○多様性を認め合う心と態度
 ◎自己有用感を高める
 ○絆づくり

○わかる授業
 ◎伝え合い、学び合い、深め合う
 ○ICTの積極的・効果的な活用

◎規則正しく健康的な生活習慣
 ○体力づくり
 ○教育相談の充実

○安全・安心な学校
 ◎家庭・地域との連携
 ○園・小・中の連携

■ポジティブ教育の視点を取り入れ、自分や他者の良さに目を向ける機会を増やし、違いを互いに認め合い、多様な考えを生かしあおうとする心と態度を育成する
 ■道徳教育や人権教育を充実させ、多様な考え方や価値観に触れて、受け入れ認め合う寛容性を高め、より良い人間関係を築く力を育成する
 ■委員会活動や学級係活動等では、役割を工夫しやり通せるよう支援して成功体験を味わわせ、自己有用感や自己肯定感を高める
 ■ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、一人一人が充実した学校生活を送れるよう工夫する
 ■個々の得意を生かした活躍の場を通して自己有用感を高めるとともに、他者の活躍をみんなで認め喜べる温かな学級と絆づくり
 ■失敗や間違いが許されて、諦めずに何度もチャレンジすることができる仲間づくり
 ■学級、学年、全校の仲間と、歌声を合わせ響かせることに、美しさや喜びを感じることができると仲間づくり

■わくわく感のある魅力的な学習課題の設定
 ■「わかる喜び」「できる楽しさ」を実感できる授業づくりを推進する
 ■聞き方・話し方等の学習ルールづくりを確実に定着させる
 ■読書時間の確保や図書室利用の機会を増やす工夫をして、読書好きの児童を増やすと共に、読書力や読解力を高める
 ■総合的な学習の時間を軸とした円山版カリキュラム・マネジメントで学習効果を高める
 ■目的や課題に応じたグループワークを工夫する
 ■他者の意見を聞くことで、自己の気づきや考えを振り返り、深めたり確かなものにしたりとできる授業づくり
 ■ICTを積極的・効果的に活用すると共に、ICTとノートを効果的に使い分けた授業づくり
 ■一人一授業や日々の教材研究、教員研修等を通して、教育専門職としての力量を高める
 ■全国学力調査結果を考察し授業改善に生かす

■自分から二言あいさつやララあいさつができる子を育てる取組を継続して行う
 ■返事、整理整頓、靴そろえ、無言清掃、まなざし等、基本的な所作の凡事徹底を図る
 ■「早寝・早起き・朝ご飯」を奨励し、規則正しく健康的な生活習慣の意識を高める
 ■学校保健委員会や外部関係機関と連携した健康教育の実践
 ■児童が自身の健康と安全に対して主体的に考える態度を育成する
 ■学校生活でのルールや約束の理由を理解し、進んで守り、健康で安全な生活を送ることが出来る
 ■運動遊びができる環境をつくり、進んで体を動かし運動を楽しむ子を育てる。
 ■基礎体力の向上と技能習得に向けた授業を工夫する
 ■「心元氣かな」アンケートやSCを活用した教育相談の充実を図る
 ■児童に関する迅速な情報共有と対応を心がける
 ■必要に応じてSC、SSW、外部関係機関と連携し組織的に対応する
 ■共生社会の実現に向けたインクルーシブ教育の推進

■家庭や地区団体と連携した、登校時の旗持ち当番や下校時の見守り活動を実施して、地域で子供を事故から守る体制をつくる
 ■情報社会の倫理やルール・マナー、安全への知恵等を正しく理解できるように、家庭と連携して情報モラル教育を推進する。
 ■家庭・地域と連携した避難訓練や引き渡し訓練を通して、安全意識と防災意識の高揚を図る
 ■円山小学校の魅力や学校の取組を、学校HPや各種たより、学校公開等で継続的に情報を発信することで、学校に対する理解と協力を得る
 ■公民館各種団体と連携した体験活動や、PTAによるキャリア教育等、地域素材（人・もの・こと・情報）の活用を工夫と充実を図り、自分の夢を描ける児童を育てる
 ■園・小・中学校の接続会議や中学校区教育を充実させて、ギャップのないスムーズな移行に努める

・みんなで何かをするのは楽しい
 (児童97%以上)
 ・誰に対しても思いやりの心もち親切にすることができる (児童97%以上)
 ・協働する活動を取り入れ、他を思いやり認め合う心を育てている
 (教職員100%)

・授業がよくわかる (児童97%以上)
 ・自分はたくさんの本を読んでいる
 (児童80%以上)
 ・発達段階や一人一人の児童に応じた授業づくりに、熱心に取り組んでいる
 (教職員100%)

・自分は運動が好きだ
 (児童95%以上)
 ・早寝・早起き・朝ご飯ができています
 (児童95%以上)
 ・いつでも誰にでも進んで場に合ったあいさつができるよう指導している
 (教職員100%)

・地域の行事に進んで参加し、地域の良さを知りたいと思う (児童90%以上)
 ・将来の夢やめざす目標をもっている
 (児童90%以上)
 ・学校は「PTA総会」「懇談会」「学校だより・学年だより」等を通して、保護者に教育方針や教育内容を適切に伝えていく
 (保護者95%以上)

円山小学校研究主題
 「自分の思いや考えを表現できる円山っ子～個別最適な学びと協働的な学びを通して～」

教職員にとって
 「働きがいのある学校」
 チーム円山

○全教職員が同じ方向に向かい、それぞれの立場で持ち場を守る協働体制
 ○プロとしての自信をもち、個性を發揮しながら互いを支え合う同僚性
 ○Work-Life Balance (仕事も大事 自分の時間も大事)

【よりよい教育を提供するための「働き方改革」の推進】
 ・出勤時刻選択制(フレックスタイム) ・放課後の時間を確保するための校時設定 ・教科担任制の推進
 ・積極的な業務推進日の設定 ・Teamsによる情報提供と情報共有 ・ノー残業デー(水曜日)の遵守
 ・カリキュラムマネジメントによる授業の充実 ・「働き方改革」の保護者、地域への情報発信と協力依頼

